【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	CQ27 周術期トリプルネガティブ乳癌に対して、免疫チェックポイント阻害薬は勧められるか？
対象	早期トリプルネガティブ乳癌
介入	PD-1/PD-L1阻害薬+化学療法薬
対照	化学療法薬

＊バイアスリスク，非直接性
　各ドメインの評価は「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
　まとめは「高（−2）」，「中（−1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
　　各項目の評価は「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階。
　　まとめは「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	リスク人数（アウトカム率） 対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント
OS	PIII×2	0	0	-1	0	0											C	9	
EFS	PIII×2	0	0	-1	0	0								HR	0.63, 0.76		C	8	KEYNOTE-522とIMpassion031のみ
pCR	PIII×2	-1	0	0	0	0		534	228	42.70%	682	421	61.73%				B	8	
QOL	PIII×2																D	6	
Toxicity	PIII×2	-1	0	-1	0	0		556	406	73.00%	945	736	77.90%				C	6	G3以上
Cost	PIII×2																D	3	

コメント（該当するセルに記入）